

令和6年度
オーバーツーリズム抑制による観光推進事業
実施計画書（事業概要）

令和6年9月27日

一般社団法人 Virtue Design（バーチュデザイン）

(1) 目的

恩納村の観光において、マリンレジャーは重要コンテンツの一つであるが、利用者が集中する真栄田岬は許容量を超える利用者が訪れることによる環境負荷（サンゴ礁の減少、自然生物への悪影響）やオーバーツーリズムによる地域への負荷（違法駐車、交通渋滞、維持管理コストの増加等）、安全面の問題（事故等の増加、リスクの增大）等の弊害が懸念されている。

持続可能な観光地域づくりを実現するためには、地域のあるべき姿をイメージし、地域の実情に応じた具体策を講じる必要がある。

令和3年度に内閣府沖縄総合事務局運輸部が実施した実証事業を基に、真栄田岬における課題解決及び持続可能で高付加価値な海洋観光を促進し、恩納村SDGs推進計画と合致した「持続可能な観光」の実現を図るために、地域の多様な関係者による協議会を開催し、具体的な方策について検討を行う。

(2) 懸念事項

現在顕在化している懸念事項

関係者等への事前ヒアリング、過年度実証事業等によって見えてきた問題

環境負荷の増大

当該エリアでの、**許容量を超える利用者の増大**によって、生態系への悪影響が発生している。特に、サンゴ礁や生物への影響は大きな問題となっている

生活環境への悪影響

当該エリア周辺へのアクセスが増大し、交通渋滞、違法駐車、騒音、ゴミのポイ捨てなど、**住民にとって過大な負荷やストレス**が発生している

安全性の低下

当該エリアにおいて「**低単価×大人数×高回転率**」によって売上拡大を図る、モラルの低い事業者によって、溺水事故が増加し、**死亡事故（年2～6件）**が毎年発生している

(3) 本事業で達成したい目標（令和6年度）

課題解決策の導出と合意形成

①利用の在り方

真栄田岬周辺地域及び海洋エリアの利用の在り方について、多様な関係者による協議会の開催を通じ、**方向性**を明確にするとともに、次年度の**具体的なアクション**について検討する

⇒アクションプランを明確にする

②オーバーツーリズム対策

恩納村第6次総合計画、第2次SDGs推進計画の実現に向けて、将来を見据えた恩納村全体のオーバーツーリズム対策の在り方について導出する

⇒制度や仕組み等の検討及び意識啓発も含めた機運の醸成や情報発信など

③合意形成の手法

協議会構成員のみならず、行政、地域団体、議員、住民、村内外の事業関係者、観光客等、幅広い多様な関係者の合意形成を図るための手法について検討する

⇒仕組み化

(4) 本事業の基本方針（コンセプト）

①多様な関係者の共通認識を図る

恩納村の各種計画及び真栄田岬の現状や課題等について、きめ細かな情報提供を行い、多様な関係者の共通認識を図り議論を進める

②次年度以降の具体的なアクションを導出するための議論

過年度実証事業や先進事例等をふまえ、世界の潮流や国内の動向などをふまえた解決策について検討し、具体的なアクションへつなげる

1. 事業概要

(5) 事業の全体像

①関係者への周知・説明

- ・多様な関係者への周知と事前説明
- ・過年度調査などの情報を整理し提供
- ・参加しやすい環境の整備
- ・事業説明会
- └ 資料及びアンケート結果共有
- ・セミナー
- └ アーカイブ及びアンケート結果共有

②事前調査

- ・過年度実証事業を補完する調査の実施
- ・現状の実態を把握
- ・多様な関係者から意見を聴取
(特に地域住民や事業者)
- ・過年度調査を担当した沖縄環境科学センターと連携 (調査、観測の精度を担保)

③協議会資料作成

- ・事前調査の結果を取りまとめ
- ・過年度実証事業の内容を整理
- ・他地域等の先進事例調査
- ・検討が想定される制度、仕組み等の調査
- ・論点の整理と絞り込み

協議会の開催 (全3回)

第1回 (9月30日)

- (主な議題)
- ・協議会開催要旨
 - ・事業概要 (目的、現状と課題)
 - ・過年度実証事業の共有
 - ・課題認識の共有
 - ・意見交換

第2回 (10月下旬頃)

- (主な議題)
- ・課題解決策 (事務局案) の提示
 - ①各種制度、仕組みについて
 - ②他地域先進事例等の共有
 - ③実現に向けた方策について
 - ・意見交換

第3回 (11月下旬頃)

- (主な議題)
- ・課題解決策 (修正案) の提示
 - ・次年度取り組み内容について
 - ・意見交換

報告書のとりまとめ

- ・協議会の検討結果をまとめ、次年度の取り組みに向けた事業計画を整理する

1. 事業概要

(6) 参照する各種計画及び取組み等

タイトル	期間等
①恩納村第6次総合計画（恩納村第2期総合戦略）	令和5年度（2023）～令和14年度（2032）まで
②恩納村第2期SDGs未来都市計画	令和4年度（2022）～令和6年度（2024）まで
③環境に配慮したマリンレジャー等の自然フィールド利活用に係る持続可能で高付加価値な海洋観光の推進に向けた実証事業	令和3年度（2022） 内閣府 沖縄総合事務局 運輸部

(6) 参照する各種計画及び取組み等

①恩納村第6次総合計画（恩納村第2期総合戦略）

■基本理念

- (1) 自然を愛し、人と自然が共生する美しい村
- (2) 人間を尊び、互いを支え合う心豊かで共生の村
- (3) 子どもたちの伸びゆく力を育て、活力ある村
- (4) 心も体も健康で、安心して暮らせる村
- (5) 魅力あふれる活力のある元気な村

■将来像

恩の青 豊かな緑 輝く人々 未来へつなごう恩納村

■基本目標（一部抜粋）

4 【産業・経済】恩納ブランドをいかした活力と魅力ある産業の村

- 4-2 水産業の振興 ・里海と漁業環境の保全・再生
- 4-4 観光業の振興 ・地域資源の保全と活用の観光振興

5 【環境】・美しい自然と調和した潤いのある村

- 5-1 自然環境の保全・創出 ・海域生態系の保全と創出・陸域環境の保全と創出・景観の保全と創出
- 5-2 生活環境の保全・創出 ・循環型社会の構築・公害対策の充実・環境衛生の向上

(6) 参照する各種計画及び取組み等

②恩納村第2期SDGs未来都市計画

■2030年のあるべき姿

- ① サンゴにやさしいライフスタイル
- ② 世界水準のスマート・エコリゾート
- ③ ネイティブが活躍するむら

■2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

(環境)

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
14 	指標：造礁サンゴ類被度 25%以上の割合	
(14.1/14.2)	現在(2020年): 50%	2030年: 50%

(取り組みのゴール※抜粋)

行政がサンゴ保全を図るだけでなく、サンゴを傷つけない、環境に優しい商品を購入する、省エネを心がける、自然環境について学ぶ、自然の中で遊ぶ等、サンゴに優しいライフスタイルの村民への普及を図り、村民の生活と豊かな自然が共存していくように啓発活動を行う。また、観光振興への取り組みを進めるとともに、（仮称）環境税（持続的なむらづくり推進税）やGreen Fins（後述の導入などを行い、サンゴを始めとした自然環境の保全を図る。

(6) 参照する各種計画及び取組み等

③環境に配慮したマリンレジャー等の自然フィールド利活用に係る持続可能で高付加価値な海洋観光の推進に向けた実証事業

■目的と概要

【業務の目的】※一部抜粋

マリンレジャー等による環境や地域への負荷の抑制や安全性向上を図ること等により、持続可能で高付加価値な海洋観光を推進していく

【事業の概要】

恩納村真栄田岬を拠点に、マリンレジャーの持続可能で高付加価値な海洋観光の促進に向けて海域利用の一部制限等の実証を行った。

① 事前調査

- 5つの調査を実施。
①海域利用実態および周辺地域への影響調査
②環境負荷調査（サンゴ被度）
③安全性に関する調査（ダイビングショップへのアンケート）
④利用者に対するアンケート調査
⑤持続可能なマリンレジャー等の実施ルールの策定状況調査

出典：環境に配慮したマリンレジャー等の自然フィールド利活用に係る持続可能で高付加価値な海洋観光の推進に向けた実証事業報告書

② モデル地域における実証

- Green finsの周知や海域利用の届出制の実施。
- 事業者向けの海域利用ルール（入域制限等）の施行的実施。
- 真栄田岬周辺活性化施設を利用した環境教育および安全性に関する周知徹底

③ 協議会・地域部会

協議会：有識者や関係者から真栄田岬の高付加価値化に向けた手法やその考え方について協議。
地域部会：真栄田岬での具体的なルールの検討等について協議。

④ 恒常的な仕組みの検討

- 入域制限等（エリア、時間、人数等）を恒常的に行うため、協議会や地域部会等で議論された内容を基に検討する。
- 【組織】【計画】【財源】の観点から検討。

6. スケジュール

(1) 業務の年間スケジュール

業務内容	2025年																	
	8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
事業全体設計・実施計画書の作成																		
契約締結																		
定例会議（進捗報告）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	完了報告 ★		
(1) 事前調査																		
調査設計				➡														
関係者調整					➡													
現地調査実施						●												
ヒアリング調査（聴取、まとめ）						➡												
(2) 協議会																		
実施計画策定				➡														
関係者調整（メンバー選定、就任依頼）				➡														
事前説明					➡	➡	➡											
協議会資料作成					➡	➡	➡											
協議会開催						●		●		●								
(3) 広報・周知																		
事業説明会					●													
セミナー					●													
(4) 報告書作成																		
次年度実施計画の整理（暫定版）										➡								
実施報告書作成										➡	➡							
実施報告書提出										➡	➡							
次年度実施計画の整理（）										➡								
実績報告書作成（精算業務）										➡	➡							
完了検査																		